

小型送風機点検手順書（コピーの上、1台につき1枚をご使用ください）

1～5、並びに9、10の点検作業は機器を運転しながら行います。感電や巻き込まれが無いよう、安全には特に注意してください。

番号	点検方法			対象機種			異常の有無		異常が発見されたときの処置方法
	部位	項目	方法	全熱交換器 ES型	ラインシロッコファン LCF型	(エス)ラインファン ALF型	有	無	
1	送風機	運転中の異常音	機器のそばで、できれば機器の点検口を開けて運転音を聴いてください。	給気用、排気用それぞれを点検してください。	○	○	☐	☐	電動機から音が出ていたら電動機の交換が必要です。部品の接触音の場合は修理できることもあります。判断がつかないときは弊社営業担当にご連絡をお願いします。 電動機又は羽根車の交換が必要です。
2		運転中の異常振動	運転中に機器の外面に手で触れて確認してください。				☐	☐	
3		風が出ているか、また強運転或いは弱運転に切替えたとき風量、或いは電動機回転数が変わるか	吐出或いは吸込グリルの風の状態を観察するか、機器のそばで運転音を聴いて判断してください。			-	☐	☐	電動機の交換又は制御装置(制御ボックスまたは運転スイッチ)の修理が必要です。判断がつかないときは弊社営業担当者にご連絡をお願いします。
4	加湿器	加湿モード運転中、加湿するか	《超音波加湿器》型式にWが付く機種 加湿モードで運転したとき、加湿器から霧化した水分が放出されるか確認してください。	○	-	-	☐	☐	弊社担当者にご連絡をお願いします。 濡れていない場合は弊社営業担当者にご連絡をお願いします。 取扱説明書に記載の方法でエレメントの洗浄をお願いします。 加湿エレメントの交換が必要です。 弊社担当者にご連絡をお願いします。
			《気化式加湿器》型式にEがつく機種 加湿モードで運転したとき、加湿エレメントが濡れているか確認してください。				☐	☐	
5			加湿エレメント表面が水をはじいていないか確認してください。				☐	☐	
6			加湿エレメントに破損は無いか確認してください。				☐	☐	
7		機器からの水漏れ	加湿器チャンバーの内外部を目視で確認し、チャンバーやドレンパンからの水漏れが無いか点検してください。				☐	☐	
8	フィルター	汚れ/破損	フィルター点検口を取外し、フィルターを抜き出して目視により目詰まりしていないか、破損していないか確認してください。	○	-	-	☐	☐	目詰まりしていた場合は、取扱説明書に記載の方法で洗浄してください。破損の場合は交換が必要です。 目詰まりや破損がある場合は洗浄或いは交換が必要です。 ギヤードモーター(熱交換エレメント駆動用電動機)の交換が必要です。
9	全熱交換エレメント	汚れ/破損	フィルター点検口、或いはフィルター点検口側の側板を取外し、熱交換エレメントのハニカム面を目視により目詰まりしていないか、破損していないか確認してください。	○			☐	☐	
10		回転状態	熱交換換気運転を行い、滑らかに回転するか、異常音がないかフィルター点検口から確認してください。	○			☐	☐	
11	制御装置	運転動作	取扱説明書に説明してあるとおり動作するか確認してください。	○	-	-	☐	☐	制御装置(制御ボックスまたは運転スイッチ)の交換或いは修理が必要です。

※部品の交換が必要な場合は弊社営業担当支社にご用命をお願いします。尚、交換作業、修理作業も承っております。

点検記録

現場名:

製造番号或いは製造年:

型 式:

ご署名欄:
(弊社点検時のご確認用)

各部の名称

